
令和2年

5月の普及活動状況

ダイジェスト版

～県下10農林事務所農業普及課と農業経営課(農業革新支援センター)の取組～



岐阜県農政部農業経営課

多様な担い手づくり

下呂農林 ■ 新たな農業担い手 トマト長期研修生の研修状況を確認

下呂地域担い手育成総合支援協議会（下呂市、JAひだ、農林事務所で構成）は、5月26日に下呂総合庁舎において、令和3年度にトマトで新規就農を目指す研修2年目の研修生6名に対して、農業次世代人材投資事業（準備型）に係る状況確認を実施した。

ぎふアグリチャレンジ支援センター、農林事務所、下呂市、JAひだの担当者が、研修生本人及び研修指導者に対して、研修姿勢、研修内容の理解度、就農に向けた準備状況等について個別に聞き取りを行った。研修生のほ場や住居の確保に向けた準備は、概ね順調であることを確認した。関係機関から研修生に対して、就農後のトマト生産に1人で取り組むことを意識することをはじめ、管理作業計画の策定やトマトを観察する目を養うことが重要といった助言があった。

農業普及課では、新規就農認定に向けた就農計画の作成、資金の借入等に関して、今後も強力な支援を継続する。



【聞き取りの様子】

飛騨農林 ■ 担い手 就農に向けた情報収集を支援～夢に一步近づくために～

高山市出身の岐阜県農業大学校野菜・果樹学科2年生1名が、5月18日に指導農業士で（株）アルプス農場代表取締役の大西洋介さんを訪問した。農大生は卒業論文でパプリカ栽培の課題に取り組むとともに、就農に向けた情報収集を行っている。

大西さんは飛騨地域のパプリカ生産の概要及び栽培技術を説明、また新規就農にあたってのアドバイスをを行った。農大生は熱心に説明を聞き、就農に向けたビジョンや道筋を思い描いたようであった。

農業普及課では関係機関と連携し、就農希望者に対する情報提供、長期研修による技術・知識習得、就農後の早期経営安定へとステップアップが図られるよう、各ステージに応じた支援を継続していく。



【熱心に説明を聞く農大生（写真中央）】

売れるブランドづくり

岐阜農林 ■ スマート農業 直進キープ田植機の現地導入が始まる

5月に入り管内各地で水稲作付が本格化している。水田農業では、作業時間の短縮や負担軽減に役立つ各種スマート農業機械が登場してきており、農業法人や大規模農家は更なる規模拡大や経営改善を狙い、これら農業機械の導入を進めている。その中で、直進キープ田植機は圃場管理システムと並び現地への普及が進んでいるスマート農業技術である。

管内では直進キープ田植機10台以上が稼働している。自動運転が可能のためオペレーターの作業負担が軽減されるとともに、降雨後の湛水水田でも田植作業ができるメリットがある。

今後、農業普及課は効率的な水田農業の展開に向けて導入支援や効果検証を行いながら、スマート農業を推進していく。



【直進キープ田植機】

西濃農林■水稲 **「ほしじるし」の高密度播種苗の移植**

水稲の低コスト・省力化が期待される高密度播種苗移植栽培の拡大に向け、令和2年度から西濃管内全域でJAが育苗した苗の移植を試験的に開始した。業務用途米として実需者に好評な水稲品種「ほしじるし」の高密度播種苗移植は5月18日から始まった。

神戸町の(農)南方ファームでは30aを移植し、農林事務所は、昨年までの試験を踏まえ、栽植密度等の移植時の注意点を指導した。また、10aあたりに必要な苗箱数は、通常の苗と比較して3割程度削減され、あわせて移植にかかる作業時間が短縮されることも確認した。生産者は本栽培方法によって移植作業が省力化できることを実感しており、来年度以降の本格的な導入も視野に入れている。

西濃管内では、令和2年産のJAの育苗による本栽培試験を「ほしじるし」と「ハツシモ」の2品種、合わせて3ha程度予定している。今後も農林事務所は、生育への影響等の調査や削減されるコストを試算するなど、本技術の導入・拡大を支援していく。



【移植の様子】

揖斐農林■花き **揖斐庁舎フラワーフライデーを開催**

県では、平成23年から県産花きのPR・利用拡大を図り、家族や大切な方と過ごす週末の楽しい時間に岐阜の花を添えていただくために、月に一度県産花きを持ち帰って頂く、「花と帰ろう！「フラワーフライデー」」に取り組んでいる。

このたび、新型コロナウイルス感染拡大を受け需要の低下している地元産花きの消費拡大を図るため、揖斐総合庁舎において「フラワーフライデー」を実施した。第一弾となる4月30日・5月1日に提供したのは、池田町で栽培されたフランネルフラワー。母に日向けに約1年掛けて最大8号サイズまで育て上げた逸品を含め、5号、4号のフランネルフラワーを数十鉢斡旋した。

今後、5月はミニバラ、6月はアジサイの斡旋を予定している。



【フランネルフラワー】

中濃農林■花き **第1回中濃庁舎フラワーフライデーを開催**

5月8日、農業普及課が事務局となって「中濃庁舎フラワーフライデー」を開催した。関市内の生産者2戸が母の日に合わせて栽培したカーネーションや、初夏の寄せ植え、花壇に最適なカンパニュラ・マーガレット(4色)を販売した。県だけでなく入庁団体や管理会社など、多くの職員が計430鉢を購入した。

農業普及課では今後もフラワーフライデーを継続し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている管内の花き生産者を支援していく。



【販売したカーネーション】

郡上農林■スマート農業 **タブレットを使って新たな普及活動を展開**

農業普及課では、5月からタブレットを導入し、JAめぐみのが運営する郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会のLINEグループ「若手部会員中心の17名」に参加することとなった。

タブレットを備えることで、農家から画像付きで苗の状況について問い合わせを受け、普及指導員が速やかに対応策を返答することができた。またこれらの情報をグループで共有することによりグループ全体の技術向上にも繋がる。さらに、タブレットによる指導結果をデータベース化すれば、普及活動全体の効果と効率を高めることができる。

農業普及課では、部会内での情報共有のルールも含め、安全で効率的な利用方法を関係機関とともに検討し、農家の技術向上とともに普及活動の高度化に取り組む。



【LINEでのやり取り】

可茂農林 ■スマート農業 **ドローンによる水稻の除草剤散布試験**

可茂管内ではスマート農業の取り組みとしてドローンが導入され、施肥や農薬散布を行っている。ドローンによる空中散布で使用できる農薬は、近年新規登録が増えつつある。

農業普及課ではドローン活用を推進するため、新規登録水稻除草剤について、農薬展示ほ調査事業を活用し、防除効果や効率的な飛行方法を調査し、地域への普及性を検討することとした。展示ほでは5月21日に新規登録除草剤をドローンにて散布し、薬剤拡散状況や作業時間等を調査した。

今後は、除草効果および薬害等の発生について調査を継続し、ドローン活用を推進していく。



【除草剤散布作業】

東濃農林 ■花き **東濃西部総合庁舎フラワーフライデーを開催**

5月15日の金曜日、東濃西部総合庁舎におけるフラワーフライデーとして、土岐市の花農家がつる植物の女王「クレマチス」の対面販売を実施した。

農林事務所と花農家は3月から打ち合わせを重ね、「クレマチス」の販売の方法を検討してきた。土岐の花農家では、多品種・複数規格のクレマチスが生産され、品種・鉢の大きさで価格が異なる。また、事前に開花する数量が予測困難なため、予約販売でなく販売日に花が咲いている鉢を持ち込み、対面販売することになった。

農林事務所は事前に庁舎職員に販売周知を行い、当日は販売会場の準備、商品搬入陳列、販売等のサポートを行った。搬入された商品は約50種類、いずれもユニークな花形や繊細な色みを持ち、バラエティ豊かな売り場となった。電子決済の対応も行い、11～14時の販売時間で約40人が購入するなど、好評に終えることができた。



【クレマチス販売開始】

恵那農林 ■花き **恵那庁舎・中津川市・恵那市フラワーフライデーを継続開催**

4月24日の第1回フラワーフライデーに引き続き、5月1日と8日の2日間にわたり第2回フラワーフライデーを開催した。第1回より多くの方に参加してもらえるよう、恵那総合庁舎に加え中津川市・恵那市の協力を得て市役所庁舎の3か所にて開催した。

第2回は400鉢を超えるカーネーションの鉢物を中心に販売。また、直売所休業に伴い販売苦戦している中玉トマトも販売支援を行った。購入者に対して管理方法をアドバイスする等、恵那地域の花きをPRすることができた。

農業普及課では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている花き情勢に対応するため、フラワーフライデーの取り組みを通じ、花き生産者の支援を行っていく。



【販売状況】

革新支援 ■自給飼料 **自給飼料共励会審査開始**

岐阜県自給飼料共励会は、良質な自給飼料の増産を図るために岐阜県畜産協会が毎年開催している。

5月1日、第58回岐阜県自給飼料共励会牧草の部の現地調査が始まった。可茂地域において4農家の草地の状況や牧草の収量調査を行ったところ、牧草の生育は昨年に比べて1週間程度早く、収量も増収であった。

新型コロナウイルス感染症の影響により、輸入飼料の安定供給が不安視される中、自給飼料の安定生産は経営に大きなプラスになると考えられる。農業革新支援専門員は岐阜県畜産協会や畜産研究所と連携し、現地調査を通じて自給飼料の安定生産に向けた支援を行っていく。



【牧草収量調査】